

経営比較分析表

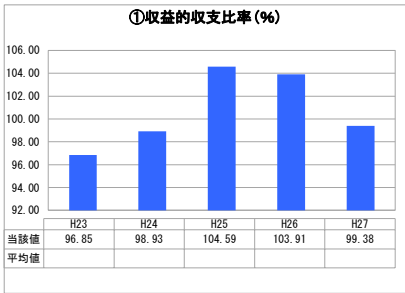
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.81	100.00	3,277

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,387	29.18	1,075.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
255	0.12	2,125.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



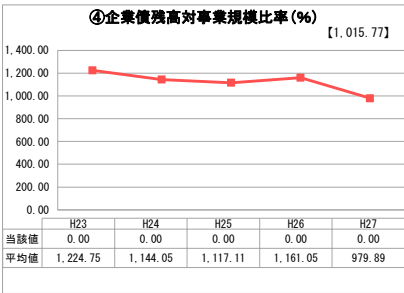
「単年度の収支」



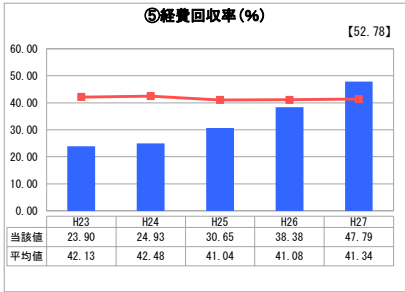
「累積欠損」



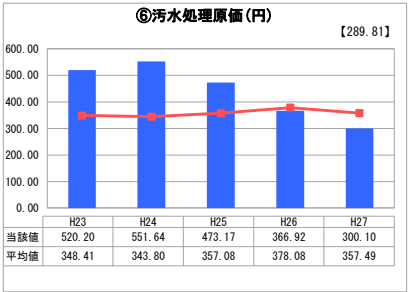
「支払能力」



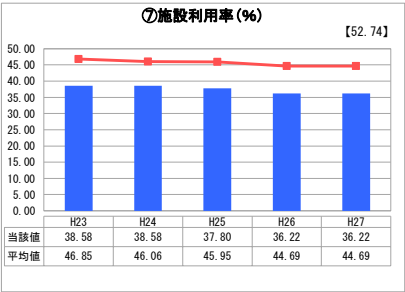
「債務残高」



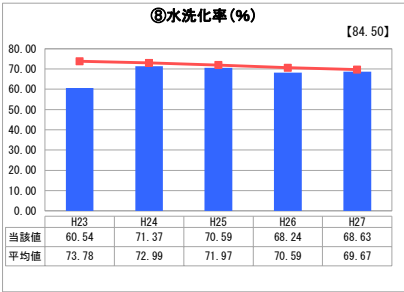
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

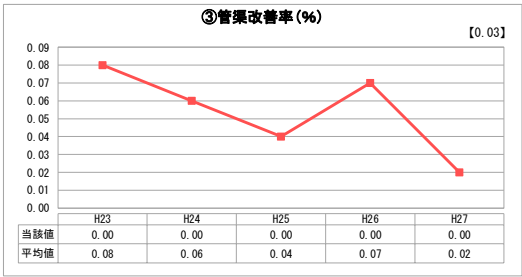
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率では料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で維持管理費に企業債元利償還金を加えた費用をどの程度賄えているかの指標になりますが、H27年度は100.0%を下回る結果となりました。これは、一般会計による繰入が減額となっているため、不足分については前年度繰越金で補われています。

経費を使用料でどの程度賄えているかを示す経費回収率は、類似団体の平均を6.45%上回ることができました。しかし、将来的には施設の老朽化に伴う維持修繕による経費の増加が見込まれるため、さらなる経費の効率化が求められます。

施設利用率、水洗化率については類似団体の平均を下回っています。少子高齢化により、施設の利用率は軒並み下がっている状態です。利用率や水洗化率の向上には水洗化への啓発・推進とともに、若い世代の定住が必要です。

2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業は平成16年度に供用開始し、現在10年あまりの年数を経ています。管渠は法定耐用年数まで、まだしばらくの期間を要しますが、今後修繕や老朽管が発生した場合に備え、事前に投資計画を作成することが必要となります。

全体総括

使用料収入については安定していますが、一般会計の負担も高い状況です。維持管理における経費の見直し等経営改善については、今後も引き続き行っていくます。

将来に発生する施設の老朽化などの問題についての総合的な計画に沿った事業運営が必要となります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。